

**【事例 H27-03-04】 山口県萩市**

ゲートキーパー養成研修等による身近な地域での「見守り体制」の整備  
 =こころの健康づくり見守り隊養成事業=

市および萩健康福祉センターの保健師からなる『こころプロジェクト』を中心に研修の企画・運営を実施し、一般市民、市職員、理容組合、商工会議所青年部、中学生を対象に、ゲートキーパー『萩市こころの健康づくり見守り隊』の養成を行った。萩健康福祉センターと連携し、萩市版の養成マニュアル等の作成に取り組んだ。中学生を対象とした研修は、教育委員会の協力を得て、小中学校校長会で事業説明を実施し参加校を募った。

**【実施主体】** 山口県萩市

**【大綱の分類】** 早期対応の中心的役割を果たす人材を養成する

**【事業予算】** 平成 26 年度 299 千円 ( 299 千円 )

**【利 点】**

- ▼ 市及び県萩健康福祉センターの保健師で作成した養成マニュアルを活用し、多くの市民を対象にした養成研修が気軽に出来る。
- ▼ 地域・学校・職域の全ライフステージを対象に、予防の段階から積極的に支援することで地域力のアップにつながる。

**【実施に至るまで】**

**【背景・必要性・理由の概要・等】**

萩市は高齢化が進み、一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加し、近所へ出向けなくなった高齢者は家に閉じこもりとなり、介護する家族の負担も増している。若い世代の引きこもり支援も課題となっており、民生委員や保健推進員等から『身近な私たちに出来ることはないだろうか！』という声が上がっていた。また萩市は自殺死亡率が高く、自殺対策が急務となっていた。

**【計画を立てる上での工夫・等】**

- ・ 萩健康福祉センターと連携し、萩市版の養成マニュアル等の作成に取り組んだ。
- ・ メンタル面での支援を要する者に対しては、個別相談事業も行い、継続的な支援に繋がっている。

**【具体的な内容・実施の過程】**

- ・ 健康増進課が主管課。平成 25 年度より市および萩健康福祉センターの保健師からなる『こころプロジェクト』を中心に研修の企画・運営を実施。
- ・ 外部講師は市内や近隣の精神科病院、山口大学医学部附属病院、県内産業医、市内弁護士等へ依頼。中学生を対象とした研修は、教育委員会の協力を得て、小中学校校長会で事業説明を実施し参加校を募っている。

**【成 果】**

- ▼養成研修を受講した成人からは、「基本的知識を学んでとても役に立った。」「講義を聴いて、

うつの治療を始めた。」、中学生からは、ロールプレイを見て「声のかけ方によって相手の感じ方が全く違うことが分かった。」「グループワークで友達の考えが聞けるので、今後も続けて欲しい。」等の声が聞かれた。

【課 題】

- ・成人向けは継続的養成やスキル向上
- ・中高生など若年層は、その後のライフステージのため、子育て世代を見据え、支援プログラムを活用した産後うつ対策を実施する予定としている。

【事業種別】 人材養成事業

【準備期間・人数】 平成25年4月～平成26年5月・6人

【予防段階】 1次

【自治体規模】 人口 4.9万人（H27国勢調査から） 財政規模

【自治体負担率】 なし（地域自殺対策緊急強化基金を使用している為）

【事業対象】 一般市民、市職員、理容組合、商工会議所青年部、中学生

【支援対象】 一般市民、市職員、理容組合、商工会議所青年部、中学生

【実施主体・問合せ先】 山口県萩市役所健康増進課 TEL：0838-26-0500

E-mail：[kenkou@city.hagi.lg.jp](mailto:kenkou@city.hagi.lg.jp)

URL：<http://www.city.hagi.lg.jp/>

【参考資料・文献】 住民基本台帳、地域における自殺の基礎資料（内閣府）